

“利用者も、事業者も、働く者も、大事にする介護保険を！”

みんなで考えよう介護保険！ みやぎ県民フォーラム2023

News

発行／実行委員会事務局 TEL022-388-9968 (宮城厚生福祉会本部)

2023.10.6. Fri No2

利用者も、事業者も、働く人も、大事にする介護保険を！

みんなで考えよう介護保険 みやぎ県民フォーラム2023

今回お迎えする講師の小竹雅子さん書籍紹介＜新刊＞

「市民活動家」は気恥ずかしい
だけど、こんな社会でだいじょうぶ？



小竹雅子

世界は、一步一步の
積み重ねで変わる。

当事者ではないし、支援者でもない。
「はじっこ」のポジションで続けてきたささやかな市民活動。
障がい児の教育問題、介護保険を巡る問題など、
悩みながら考えてきた40年をふりかえるエッセイ。

現代書館／単行本1980円

20代前半にひよんなことから「障害児を普通学校へ・全国連絡会」の活動を支える事務局を10年間担う。当初の想定より遥かに多くの会員を抱え、膨大な事務量に心身ともに疲弊し、一旦市民活動の場を離れる。だが、知人の要請から「市民福祉サポートセンター」の発足に関わり、介護保険法の成立を求める市民活動にも加わった。

その後、組織を離れて2003年から個人で「市民福祉情報オフィス・ハスカップ」を立ち上げ、介護保険制度をテーマにメールマガジンの無料配信、セミナー企画などの活動をしている。

これまでの市民活動の軌跡を辿りながら、発見したこと、感じたこと、疑問に思ったことなどを、自身の身の回りのことにも触れながら、淡々と語る自伝エッセイ。制度の理不尽さ、市民にとってのわからなさ、異議の届かないもどかしさも綴られている。

国の制度は市民のため